

H2O, 8, 27, (71c)

記者の目

警察が異例の強制捜査・逮捕に踏み切った大野病院事件。背景には遺族感情があったとされる。遺族は「なぜ亡くなったのか」と、真相解明を何より望んだ。手術中に家族が命を落とせば、「なぜ」を厳しく問うのは当然だ。

医師不足で過酷な労働環境に

「なぜ」に応える努力を

あるのは理解できる。しかしながらといつて、真実を知りたい遺族感情をないがしろにはできないはずだ。「なぜ」に応える医療側の努力は十分か。医療ミスを疑う遺族に対し、納得いく情報開示を果たしているか。医療側の改善努力がなければ「安心できる医療」は成り立たない。

無罪は当然だ。日本の妊産婦死亡率は約五人（出産十万余件当たり）と、スウェーデンに並ぶ世界で最も低い水準まで進歩した。だからといって、お産が絶対に安全ではない。現場では予期できな、い、予想外の事態が起こる。遺族の憤りは理解で

どう考えますか。
医師はケース・バイ・
ケースで医療行為を選択す
る。患者の容体、医師の要員、ナースの協力能
勢と、それぞれの能力差
の中、さまざまな対応を迫
られている。医療行為は
は患者の依頼を受けた医
師がベストを尽くす「准

—事件の医療現場への影響は。
医師は明るい医療の圭
来が見えなくなり、どんな病院を離れている。
産科は影響を計り難いほど深刻で、もし有罪判決なら壊滅していくだろ
う。産科だけではない。

化するだろう。広島県でも産科は激減。医師の集中化をしてしまかない限りだ。

—遺族は真相究明と再発防止を強く求めました。医療への不信感にはどう應えますか。

現状では状況の許す範囲内で医師が十分に説明責任を果たさなければなりませんが、本

一 キンソン病の外科治療 電極を挿入して刺激

パーキンソン病の脳深部 刺激療法



しさんは、何にも手が震え、手も固くて動かしにした。歩こうとした。歩くんで一步前にすくんで一歩前にがみで小刻みにいつも倒れそうに支えてもらつてるので字を書くのも困難です。

広島大・河野修興医学部長に聞く

い。危険のない医療はな
く離」を続けた判断の是非が焦点。医師の裁量を

委任契約」であり、（結果まで保証する）「請負契約」ではない。結果を問うこと自体、それでいて

救急など命を救すかる診療科は新しい医師が入つてこなくなり、危機的状況だ。今後十年は相当悪

野病院は産科一人医長とい
う過酷な状況で、そもそも無理があつた。医師
数と報酬を増やし、労働



「適切な医療を保障する制度の構築こそ必要」と話す河野医学部長

産科医に無罪判決 福島妊婦死亡訴訟

クリツク

上過失致死などの疑いで

執刀医師を逮捕した。関連学会の抗議声明が相次ぎ、第三者の立場で医療死亡事故を究明する国的新組織が検討されるきっかけにもなった。福島地裁は20日、「標準的な措置で過失はなかつた」と無罪判決を出した。

んとした医療制度を構築しなければ、困るのは医療の本来の受益者の国民だ。

（けんこう）掲示板

◆健康セミナー 9月

7日午後1—3時、呉市の市民会館。呉共済病院の塩田雄太郎呼吸器内科部長が「新型インフルエンザについて」、江草玄士クリニック（広島市中区）の江草玄士院長が「メタボリックシンドrome～正しく知つて克服しよう」と題して講演する。無料。呉市医師会 0823（22）2322

6.

◆映画館で救急講習会

9月9日前半 10時—11時半。

広島県府中町大須の広島バート11、東広島市西条町御園宇のT・ジヨイ東広島。日本赤十字社広島県支部の職員が講師を務める。映画館のスクリーンを使い、自動体外式除細動器（AED）の使い方などを学ぶ。無料。定員は各30人。参加者には映画観賞券をプレゼントする。官製はがきで各劇場に申し込む。広島バート11 082（561）0600。

◆健康公開講座 9月

10日午後7時—8時半、防府市の市地域交流センター。防府消化器病センターの松崎圭祐研究所長が「がん緩和医療の実際・自分らしいがん終末期を迎えるために」をテーマに講演する。無料。防府消化器病センター 0835（25）870

7。